

輸出事業計画

※申請者名：株式会社秋葉乳業、品目：牛乳・乳製品

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・ アジアのショーケースと呼ばれるシンガポールにて、3度テストマーケティングを実施。現地の乳製品に対するニーズとこれからの可能性をつかめた。
- ・ 現地の牛乳の状況は、主にロングライフ牛乳（LL牛乳）が主体となっており、それとは違う味わいを求めているホテルやレストランのニーズに対応しきれていないことがある。
- ・ 弊社の強みである、アニマルウェルフェア、循環型事業、カーボンニュートラル、といった取り組みのもとで生産された乳製品はまだ市場になく、そういった要望にも対応できる製品を打ち出していく。

【課題】

- ・消費期限を長くするための製品の開発。
- ・商品の品質を保つため、小ロットでも指定の温度帯で最終消費者まで運んでくれる物流業者の選定。
- ・B to B向け、新規販路の開拓
- ・B to C向け、自社ブランドCaféの展開

2. 輸出事業計画の取組内容

輸出国：シンガポール

■消費期限を長くするための製品開発

牛乳は外部協力業者に依頼し、高温殺菌牛乳を製造し冷凍にて現地へ輸送する。
ヨーグルトは遮光性の高い容器に変更し、消費期限を延ばしつつ同じく冷凍にて現地へ送付する。

■商品の品質を保つための物流業者の選定

現地で3温度帯に対応した配送業者をコンサルタント経由で紹介してもらい、数回の冷凍状態での配送試験を行い、選定する。

■To B向け事業：高級ホテル・レストラン・有名パティスリー

To B向け事業としては、令和5年7月/8月/9月に協力レストランサンプリングを実施し、同年10月より立ち上げ予定。目標年の令和8年度にホテル3か所、レストラン3か所と取引開始を目指す。

■To C向け事業：自社ブランドCafé・EC

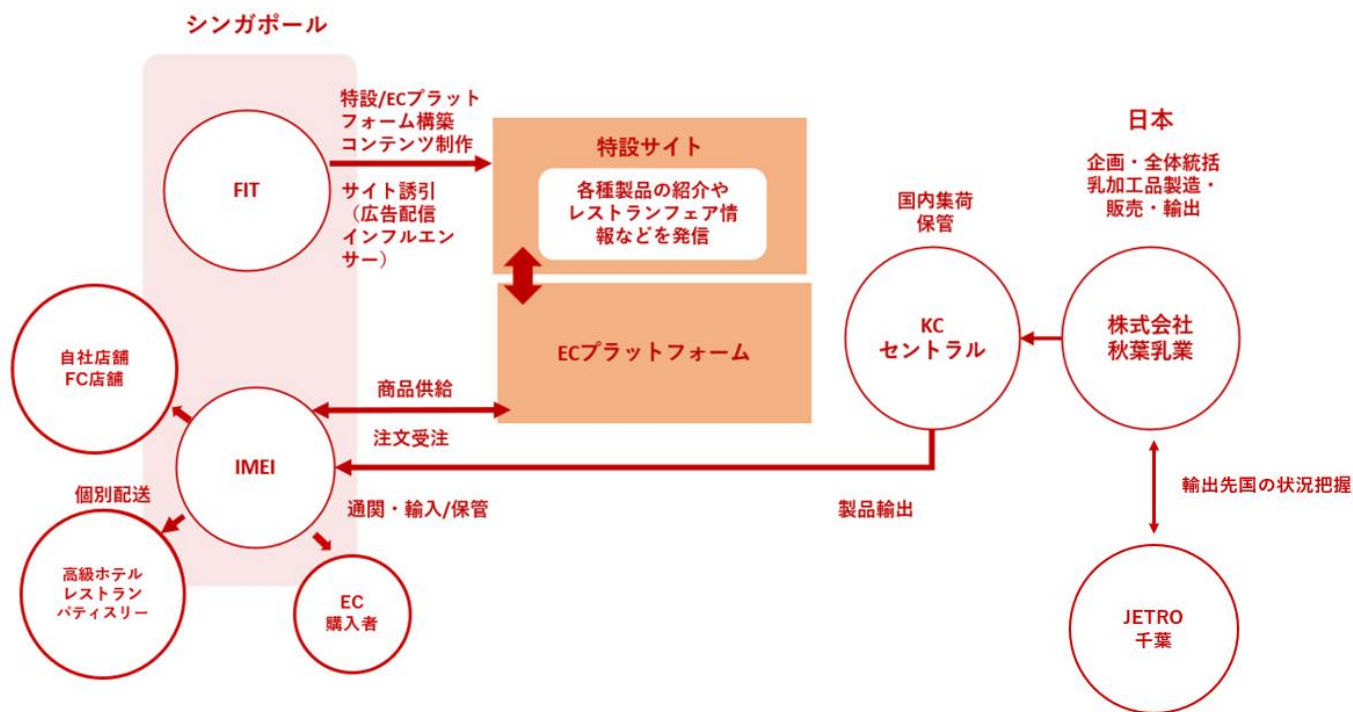
令和5年12月頃、現地to C向けの飲食事業に向けた現地フランチャイジー企業と打ち合わせ予定。早期に業態を決定し、令和6年上半期に現地ストアをオープン予定。目標年の令和8年度に、3～5店舗出店する予定。

輸出事業計画

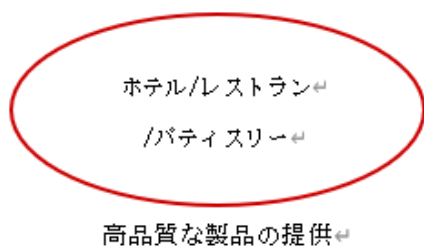
※申請者名：株式会社秋葉乳業、品目：牛乳・乳製品

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

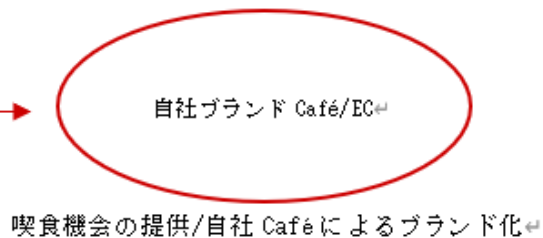
■連携体制



To B 向け事業



To C 向け事業



相乗効果

■PDCA

Plan : 輸出事業計画の策定・検討。

Do : シンガポールにおいて、ECプラットフォームの作成、自社ブランドcaféのオープン、新規卸先への販売。

Check : 月間の売り上げ数量のチェック。ECサイトへのPV数やSNSでの反応の確認。

Action : 必要に応じて計画の再検討。

輸出事業計画

※申請者名：株式会社秋葉乳業、品目：牛乳・乳製品

4. 輸出目標額

現状2022年は現地のテストマーケティングを実施。

2023年に出荷体制を整え輸出をスタートさせる予定。

	現状	目標年
	令和4年度	令和8年度
輸出額（千円）	－	28,961
輸出量（Kg）	－	47,682
輸出先国	－	シンガポール